



現代社会文化研究科
博士後期課程2年

亀岡 雅紀

皆様と共に誰もが幸福に暮らせる 社会創りを進めさせて下さい

この度は、皆様への活動報告の機会を頂戴し深く感謝いたします。現在、我々の研究室では子ども達が「わくわく!はつらつ!発育発達できる生涯健康な社会づくり」を目指し、「にいがた子どもわくはつプロジェクト」を展開しています。フェイスブックにて活動報告をしていますので、ぜひご覧ください。保育施設の多くは、新型コロナウイルス感染症により園行事や園外活動が中止になり、子ども達が受ける日々の刺激が少なくなっています。保育者の間では、子ども達の成長に悪影響が及ぶことが懸念されております。そのような背景から、我々は保育施設の子ども達を繋ぐ「オンライン運動会」の実施に至りました。オンライン運動会により、子ども達が楽しく身体を動かす機会の提供や他園との交流によりドキドキ・ワクワク感のある刺激的な時間を共有できます。このような機会は子ども達の成長に重要な機会となります。今後も皆様のご支援の下、皆様と共に誰もが幸福に暮らせる社会創りを進めさせて下さい! 宜しくお願いいたします。



法学部
4年

董 思曉

将来の夢は、中国と日本両国の 文化の架け橋になれたらと思います

新潟大学サポーター倶楽部の会員様、先日の発表会はありがとうございました。

私は新潟大学法学部、法学科の董思曉です。出身は中国の北の吉林で新潟より寒いところです。今は中国人留学生学友会の副会長を務めさせていただいておりますが、2021年の4月に卒業します。

将来の夢は、中国と日本両国の文化の架け橋になれたらと思います。例えば、休日に文化交流活動を行ったり、中国に興味がある人に本当の中国の現状を紹介したり、積極的に取り組む予定です。

2020年は世界の人々にとって、大変厳しい年でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の終息は時間の問題であると思います。今悩みを抱えている学生は、「災害は常にチャンスと共に」を念頭に置いて、将来の夢をあきらめず、もう一息踏ん張って、自分の将来を自分の手で切り開いていきましょう!





自然科学研究科
博士後期課程1年

有江 賢志朗

研究の楽しさと自身の成長を実感でき 私は研究者を志すようになりました

この度は、サポーター倶楽部報告会で発表する機会を与えていただきありがとうございました。私は、学部4年生時より、理学部の奈良間先生の指導の下、「飛騨山脈の氷河の特徴の解明」をテーマに研究活動に取り組んでいます。これまでの私の研究活動では、飛騨山脈の氷河の質量収支の観測、唐松沢氷河の確認など、飛騨山脈の氷河についての新知見を得ることができました。唐松沢氷河に関する投稿論文は、主要新聞各紙やテレビニュースに何度も取り上げられるほど注目され、国民に日本の氷河の存在を周知する活動に貢献することができました。これらの活動を通して、研究の楽しさと自身の成長を実感でき、私は研究者を志すようになりました。博士課程への進学時、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が見込めなくなりましたが、博士課程奨学金のおかげでスムーズに新学期を迎えることができました。多大なサポート、感謝いたします。

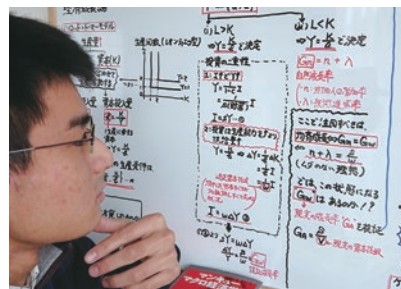


経済学部
2年

三嶋 健太郎

私が思い描く「教育と地方の格差是正事業」は 必ず実現したいと思います

先日は、会員皆様の前で発表する貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。今回の報告会を通じて、社会人へ一歩近づけたと感じます。考えを纏める力や伝える力も重要なスキルであり、これらの圧倒的不足を認識できたことは大きな学びです。今年は働き方から資本主義の在り方まで、従来の仕組みが見直され大幅な改革を迫られている、新たな活動を始める上で千載一遇のチャンスだと強く感じます。VUCAが高まり即戦力が求められる時代。私見ですが今後の新卒雇用の拡大は乏しく、次第に就活と学生起業のハードル差は縮まると捉えています。だからこそ、私が思い描く「教育と地方の格差是正事業」は必ず実現したいと思います。起業に当たっては、実務経験豊富な会員皆様にお力添えをお願いする場合もございましょう。その際は忌憚ないアドバイス等を頂けたら幸いです。最後に、貴重な経験と皆様との一期一会に深く感謝を申し上げ、大切にしたいと思います。





創生学部
4年

後藤 翔太郎

自分よりも頑張っている人がいるから その人たちに追いつけるようになりたい

報告会に参加して、自分と同じ新潟大学に、色々な研究をしている学生がいることを再認識しました。就職活動も終わり、自分に残されているのは卒業研究のみとなりましたが、やる気が起きずモチベーションの低下を感じた時期もありました。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、対面での授業が思うように出来ていない現状に不満を感じることもありました。

しかし、参加学生の皆様の、自分の研究に精力的に取り組まれている様子、そして周りの人への感謝を忘れない姿勢を感じ取りました。そんな姿を見て、自分も後悔しないように卒業研究をやり遂げたい、自分よりも頑張っている人がいるからその人たちに追いつけるようになりたいと刺激をもらいました。また、「新型コロナウイルス禍はチャンス」と捉えている方の話を聞き、現状を悲観するだけでなく、そんな中で何が出来るかを考えたいと思いました。私は今年度で卒業となりますが、卒業しても何かしらの形で大学に関わることが出来たらと考えております。



教育学部
2年

吉村 真紅

未来のために今できることを

今回、座談会に参加させていただいたことでより具体的にサポーター倶楽部のご支援の内容を知ることができました。サポーター倶楽部の皆様のおかげで、より良い学生生活を送れていると強く感じました。私は寮の生活を少しだけ紹介させていただきましたが、寮の良し悪しを判断していただくいい機会になったとも考えております。現在、寮生の有志でホームページを作成するなどのイメージアップ作戦を立案・実行している次第であります。

もっとたくさんの人と出逢えることを楽しみにしています。

私自身将来は、教師として未来ある子供たちのために活動したいと考えています。これは、サポーター倶楽部の皆様の活動の趣旨と似ていると考えます。

皆様にしていただいているようなご支援を私が次世代に対して積極的に行動することで、ご恩返しができればと思っております。

本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。





現代社会文化研究科
博士後期課程1年

趙 蓉俊子

この先の人生に大きく影響が出る良い機会 自分のがんばりを、自分が勝ち抜くためだけに使わない

新型コロナウイルス感染症の流行が拡大してきて、世界中がこんなにもダメージを受けてしまうとは、想像もつきませんでした。2020年は皆様と顔を合わせて交流する機会を失ってしまって、本当に残念です。

しかしながら、今回の座談会は想像していたよりも気軽な雰囲気での話し合いでとても意見を言いやすく、良かったと思います。学長や皆様がとても親しみやすい方で、座談会に参加できて本当に良かったと思いました。学長と皆様との交流を楽しませていただき、大変貴重な経験となりました。色々な分野の方とコミュニケーションを通じて、私にとって貴重な情報が得られたり、視野を広げたりすることができました。人の話を聞いたり、意見を伝えることで自分の価値観が明確になっていきます。サポーター倶楽部報告会に参加することは、この先の人生に大きく影響が出る良い機会だと思います。

会員企業の皆様の教育事業への熱心な姿勢を拝見し、私は自分のがんばりを、自分が勝ち抜くためだけに使わないことが非常に重要なものと認識しております。将来の進路についてですが、今後は初志を貫徹して新潟大学で学んだことを日本語教育の現場で活かし、私の故郷青島と新潟の繋ぎの役割を果たし、架け橋になりたいと思います。

最後に、ご支援をくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。これからも皆様への感謝を忘れず、将来の夢をかなえるために一生懸命頑張っていきたいと思います。



「新潟大学まなび応援基金」及び「新潟大学基金」を活用した主な事業

- ▶ 輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金
- ▶ 新潟大学大学院博士課程奨学金
- ▶ 新潟大学学業成績優秀者奨学金
- ▶ 国際交流活動支援事業
- ▶ 新型コロナ対策緊急学生サポートパッケージ